



Nagai Rotary Club



長井ロータリークラブ



国際ロータリー会長

Weekly report

ジョンF.ジャーム

長井ロータリークラブ会長 高橋 勇喜知
 長井ロータリークラブ幹事 齋藤 圭 央
 パストガバナー 渡部 保太郎
 例会日 毎週火曜日 12:15~13:15
 事務局 長井商工会議所内 TEL0238-83-2047

第2800地区ガバナー 長谷川 憲治
 第6ブロックガバナー補佐 今 良明
 例会場 タスパークホテルTEL0238-88-1833
 会報委員 大道寺 信・大滝 徹・浅野敏明・土屋茂樹

URL: <http://www.nagai-rc.jp>E-mail: info@nagai-rc.jp

四つのテスト 1 真実かどうか 2 みんなに公平か

3 好意と友情を深めるか 4 みんなのためになるかどうか

平成29年 1月17日(火曜日) 第2,693回

<例会報告NO.22>

【月間テーマ】 職業奉仕

会員卓話 尾形和夫会員

☆会長挨拶 (渡辺清隆会長エレクト)



会長がお休みで、副会長が喪中ということで私が挨拶することになりました。この前のドカ雪で腰痛くなったり、手痛くなっていませんか。今日もかなり温度が下がってしまっていて、昨日家の駐車場、今日は雪が振らないなということで水を止めたならスケートリンクのようになっていました。帰りは足下に気を付けてください。皆さんの家で団子の木飾っていますか。15日に私も団子の木にふながしをつけて飾ったのですが、毎年それをすると1年立ったなあ、今年も頑張らなければと思います。今日は、尾形会員の卓話ですので、宜しくお願いします。

☆幹事報告 (齋藤圭央幹事)

- ・本日開催予定の理事会が、来週に延期となりました。24日例会終了後に開催します。
- ・1月23日第43回長井ロータリークラブ杯英語言論大会が開催されます。



<ニコニコBOX>

・塚田弘一 会員

喜助さんには、長井市のエネルギー安定供給に尽力お頂き、感謝申し上げます。

☆会員卓話 (尾形 和夫 会員)



- ・本日のテーマは、職場、職業に関してということで、自社の紹介と油、ガスについて話をさせて頂く。
- ・私は、妻の父初代社長に佐藤喜助が他界してから、現在の喜助の後継者として、平成15年2月に入社し、来月で14年となる。平成19年4月から社長に就任し現在に至る。以前は南陽市漆山で家業の材木店に32年間勤務していた。
- ・こちらに勤務した時にロータリークラブへの入会のお誘いを中央ロータリーの方からも頂いたが、入会するのは先代の所属していた当クラブと決めていた。
- ・会社概要は、ガソリンスタンド3か所、プロパンガス充填・販売所3営業所の他、住宅整備課、整備板金工場、灯油配送センターの10事業所がある。2006年創業50周年を機会に社名を喜助に変更。現在の従業員数は46名となっている。社訓を、お客第一主義として笑顔、誠実、努力、感謝、尊重として、社会貢献事業として冬期間を除き毎月1回各事業所周辺の早朝清掃活動を実施している。
- ・我国の、国内の原油採掘量は0.3%しかなく、ほとんどが原油を輸入している。石油の供給体制は、輸入した原油を国内で精製する消費地精製方式で行っている。製油所数は国内23か所にある。
- ・原油の輸入先は、サウジアラビアが32.5%、アラブ首脳国連邦24.9%カタール9.6%となっており、3か国で7割を占めている。中東産油国の政情不安は原油の輸入に大変な影響がある。安定的に確保するには産油国との良好な関係を保つことが重要である。
- ・日本の備蓄基地は、12か所あり、容量は4,463万KLで原油が97.1%、ガソリン等が2.9%、日数で119日分である。
- ・バイオガソリンは、温室効果ガスの削減の取り組みの一環として国が取り組んでいるものであるが、国内に原料の穀物がなく、調達コストが割高となるため、本格普及には国の支援制度必要である。
- ・シェールガスは、従来は生産がコスト的に合わないと言われてきたが、掘削技術の開発により、石油より割安な天然ガスとして急速に実用化されてきた。埋蔵量の順位は中国、アメリカ、アルゼンチンとなっている。
- ・日本の石油元売会社は、従来の17社から1985年の昭和石油とシェルの合併から、2014年の合併、吸収、譲渡などが相次ぎ、現在では7社となっている。
- ・サービスステーションは、全国でピーク時の1994年60,421件あったが、2014年は33,510件と約半減している。減少要因は、低価格競争、低燃費車の普及、老朽化タンクの改修義務措置、後継者問題などがあげられる。
- ・長井市の自動車普及率は、1台当たりの人口が1.15人、1世帯当たりの台数は2.21台となっており、山形県は1台当たりの人口が1.12人で全国10位、1世帯当たりの台数が2.28台で全国2位となっている。
- ・災害時を含めた最終消費地までの石油安泰供給として、東日本大震災の経験と教訓、緊急時対応力の強化、国と地方の連携、石油安定需要の確保、災害時のサービスステーション給油態勢の整備などを行っていく。
- ・LPガスの供給状況は、輸入は全体の4分の3を占め、4分の1は国内で原油を精製して時に生産されている。国別輸入先は、サウジアラビア28%、UAE21%など石油と同じく中

- 東が多くを占める。国内需要は家庭業務用で、家庭での急騰・厨房が大きなシェアを占める。また、特長として、クリーンエネルギーであること、可搬性のある分散型であること、災害に強いことなどがあげられる。
- ・オートガスは、自動車用燃料としてブタンガスとプロパンガスの混合したLPガスで、二酸化炭素の排出量が少なく、地球環境に優しいクリーンエネルギーである。
- ・ガソリンの価格改定は、元売りより1週間ごとに金曜日に通知があり、各地区ごとに店主会を開催し決定している。山形地区は上山のコストコが超破格値で販売しており、激戦地区となっているが、飯豊、南陽、長井、米沢は同額と決まっている。最近の価格動向は、平成26年8月リッター171円と最高であったが、平成28年2月が114円となり、平成28年12月には産油国の生産調整で値上がり傾向となり、現在は136~134となっている。今後は大幅な値上げはないものと思われる。

☆次回例会予定

1月24日

楽しい例会

会員卓話

塚田 弘一会員

☆出席報告

1月17日 例会

報告者： 大滝徹 会員

	会員数 (免除)	出席数 (免除)	出席 率	MU 数	修正 出席数	修正 出席率
本 日	28(2)	18(2)	64. 29%			
前 回 (1/10)	30(4)	21(4)	83. 33%	1	22(4)	86. 67%
前々回 (12/20)	29(3)	22(3)	75. 86%			